

Index

- Section **01** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【全体】
- Section **02** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【セグメント別】
- Section **03** トピックス
- Section **04** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算補足

Index

Section **01** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【全体】

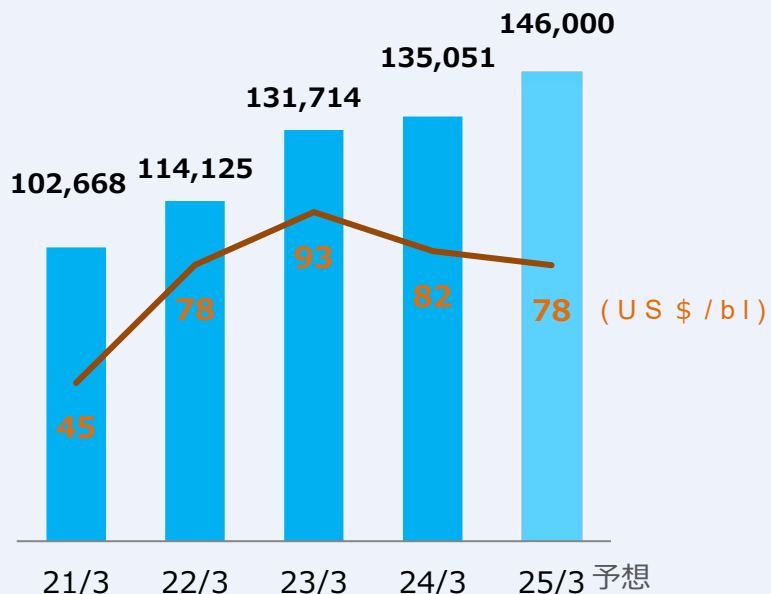
Section **02** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【セグメント別】

Section **03** トピックス

Section **04** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算補足

売上高

(百万円)

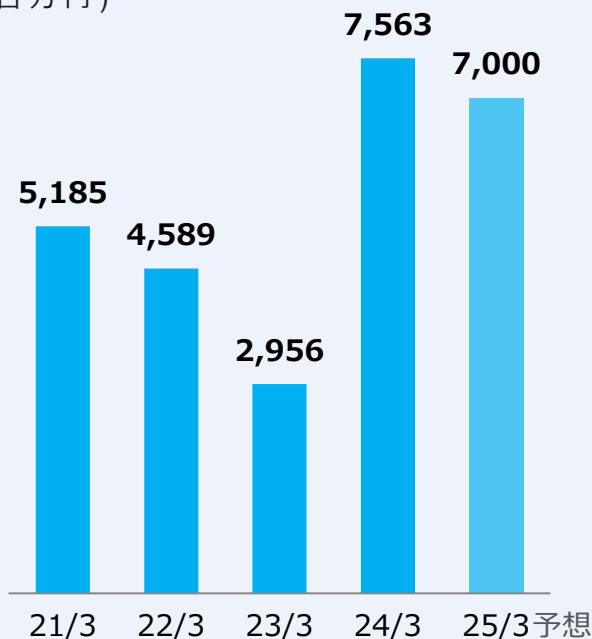


製品価格改定の取り組みが進展したことにより販売単価が良化し、売上高は前期を上回る

赤字はドバイ原油価格

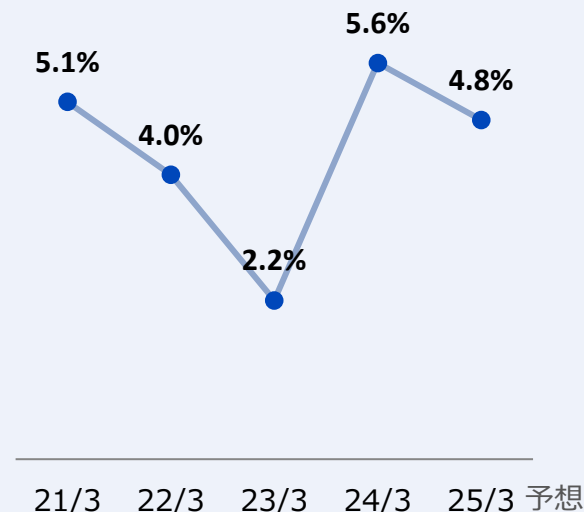
営業利益

(百万円)



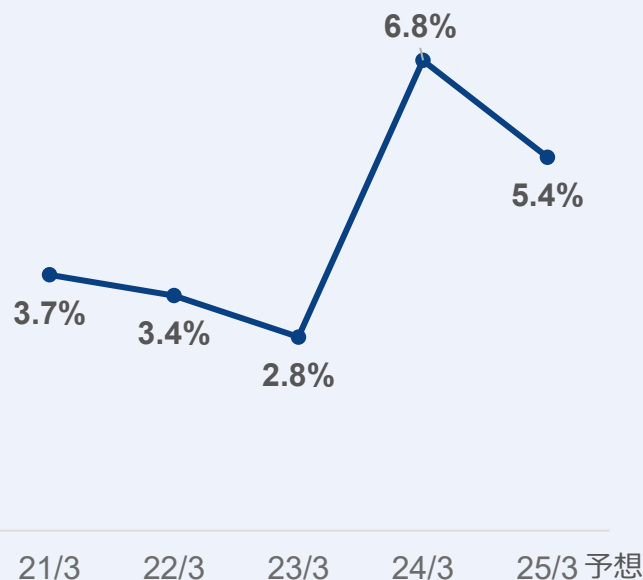
労務費や生産設備維持費用等の固定費上昇に対し、コスト削減や製品価格改定に努める

営業利益率



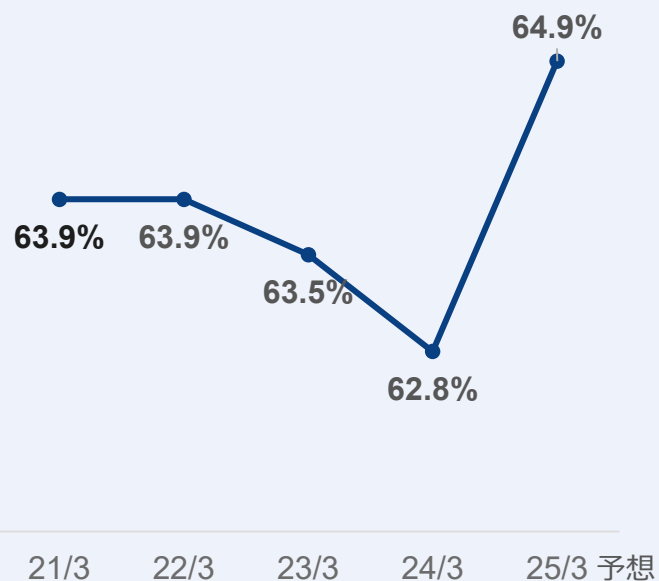
労務費、生産設備維持費用等の固定費上昇に対し、製品価格改定が追い付かず

自己資本利益率（ROE）



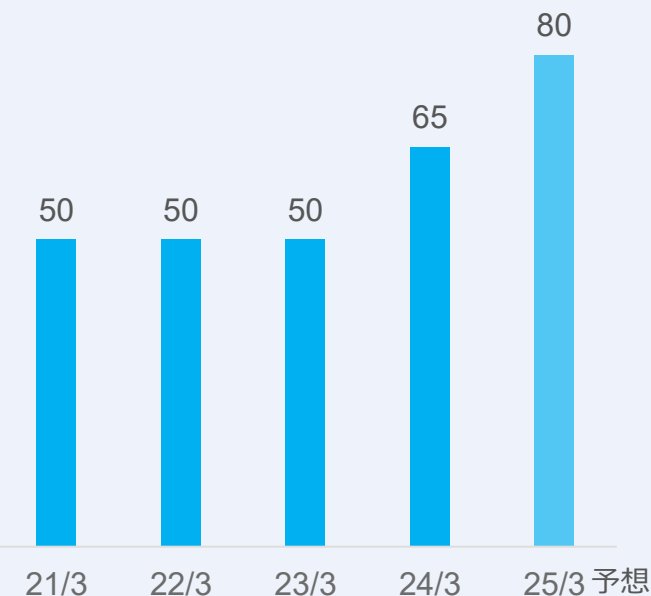
特別利益の計上もあった前年度を下回るも、2024年度当初想定の5.4%を見込む

自己資本比率



有利子負債は横ばいも、繰越利益剰余金の増加等による自己資本の増加により自己資本比率は上昇

配当金（円/株）



資本政策の一環として株主還元を強化するため、株主還元方針を当期より変更。2024年度当初想定の間年80円/株の配当を予想

決算概況（2025年3月度上期 実績）



（単位：百万円）	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期公表(4/30)	2025年3月期 上期実績	前年同期比		公表比	
	売上高	66,432	72,000	71,388	+	7.5%	-
営業利益	3,247	3,300	3,204	-	1.3%	-	2.9%
経常利益	3,617	3,500	3,544	-	2.0%	+	1.3%
親会社株主に帰属 する中間純利益	2,795	2,600	2,576	-	7.8%	-	0.9%
1株当たりの配当金	25円（中間）	40円（中間）	40円（中間）	+	15円	-	-

	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
ドバイ原油（USD/BL）	82	82
円/USD	136.5	154.1
円/EUR	147.9	166.1

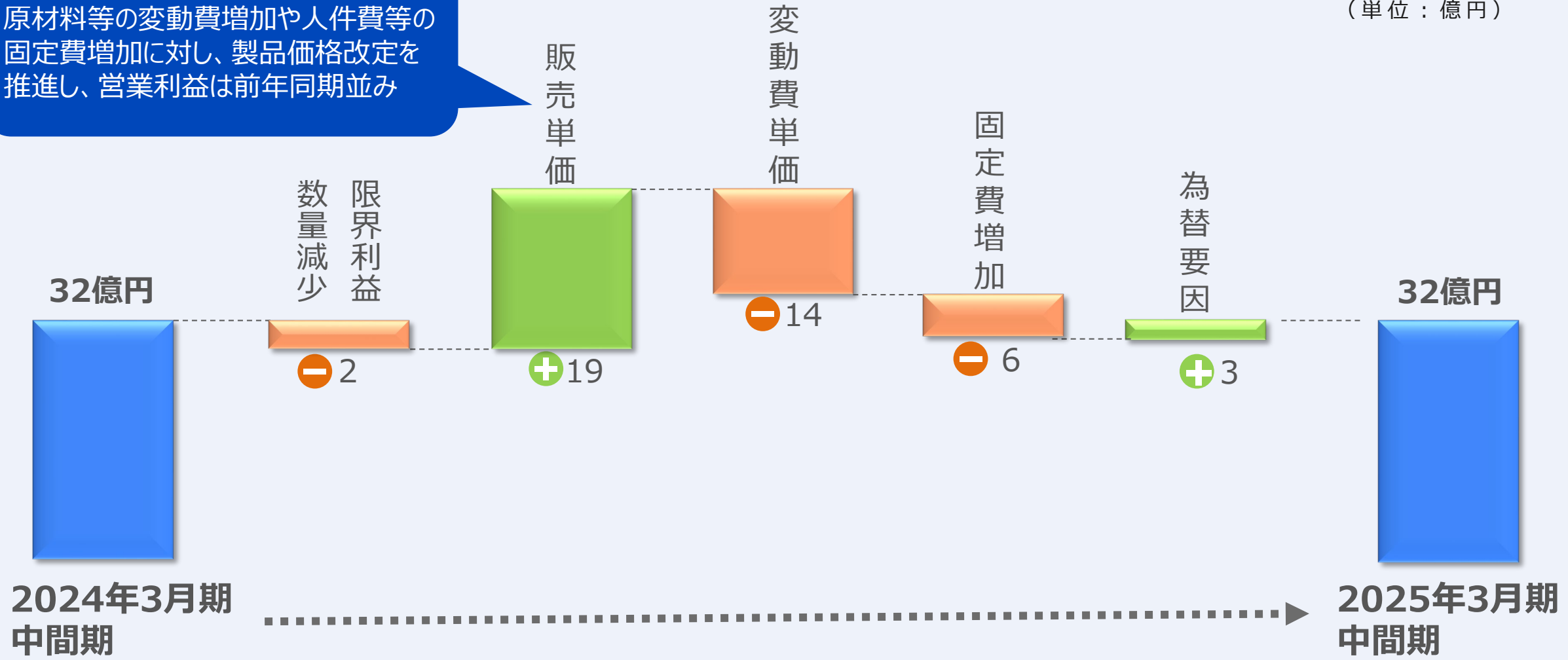
- 世界経済：ウクライナ情勢の長期化や中東情勢緊迫化、欧米の金融政策や中国経済の影響などにより先行き不透明な状況となる。
- 日本経済：社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなかで、物価上昇や金融資本市場の変動、海外景気の下振れリスクなどが懸念されながらも、緩やかな回復基調となる。
- 売上高：製品価格改定などにより、前年比7.5%の増加。
- 営業利益：付加価値の高い製品の販売減少により、前年比1.3%の減少。



営業利益の増減要因（上期比較）

原材料等の変動費増加や人件費等の固定費増加に対し、製品価格改定を推進し、営業利益は前年同期並み

（単位：億円）



決算概況（2025年3月期通期 見通し）



(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期公表(4/30)	2025年3月期 通期見通し	前年同期比	公表比
売上高	135,051	146,000	146,000	+ 8.1%	-
営業利益	7,563	7,000	7,000	- 7.5%	-
経常利益	8,127	7,400	7,400	- 9.0%	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,391	5,300	5,300	- 17.1%	-
1株当たりの配当金	65円（年間）	80円（年間）※	80円（年間）※	+ 15円※	-

※予想

	2024/3 実績	2025/3 上期実績	2025/3 下期見通し	2025/3 通期見通し
ドバイ原油 (USD/BL)	82	82	74	78
円/USD	141.2	154.1	146	150
円/EUR	153.2	166.1	162	164

- 下期の世界経済見通し：上期に引き続き不透明な状況が継続すると予測。エネルギー価格については、現状の価格水準で推移すると予測。
- 売上高：製品価格改定などの推進により、前年比8.1%増加の見込み。
- 営業利益：労務費、生産設備維持費用などの増加により、コスト削減や製品販売価格改定の進展も、前年比7.5%減少の見込み。
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間80円（中間40円、期末40円（予想））

営業利益の増減要因（通期 前期比較）



Index

- Section **01** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【全体】
- Section **02** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【セグメント別】
- Section **03** トピックス
- Section **04** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算補足

押出事業（2025年3月期上期実績）

（単位：百万円）

	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期実績	前年比
売上高	23,694	23,934	+ 1.0%
営業利益	1,040	805	- 22.4%

● 販売は前年同期並みも、製品価格改定などもあり売上は増加

● 付加価値の高い製品の販売が減少したことにより減益

※2025年3月期より、セグメント別情報の「その他」は、人材と資産活用の観点から親和性の高い押出事業と統合しております。

食品包材・容器



「スチレンペーパー」



「ミラボード®」

● 広告宣伝用ディスプレイ材の販売は前年同期並みの一方、食品トレイ向け分野の販売増加により売上は増加

産業用包装材



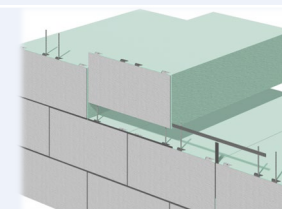
「ミラマット®」
「キャプロン®」
「Pボード」

● 高付加価値製品、汎用製品及び一般包材共に販売が減少し、売上が減少

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

● 建築・住宅分野向けの販売は増加も、土木分野向けの販売は減少し売上は減少

押出事業（2025年3月期通期 見通し）

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期			前年比
		上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	47,756	23,934	26,066	50,000	+ 4.7%
営業利益	2,161	805	1,095	1,900	- 12.0%

製品価格改定により売上高は増加も、高付加価値製品の販売減少により減益の見込み

食品包材・容器



「スチレンペーパー」



「ミラボード®」

産業用包装材

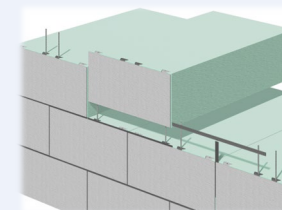


「ミラマット®」
「キャプロン®」
「Pボード」

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

●食品包材・容器の販売は、堅調に推移する見通し

●産業用包装材の販売は、自動車業界などの需要の影響により減少する見込み

●建築・住宅分野向けや保冷車用断熱材の販売は好調に推移する見通しも、土木資材製品の販売は減少する見込み

※2025年3月期より、セグメント情報の「その他」は、人材と資産活用の観点から親和性の高い「押出事業」と統合しております。なお、2024年3月期の実績は、変更後のセグメント区分により組替えた概算値となります。

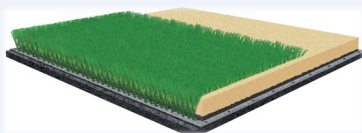
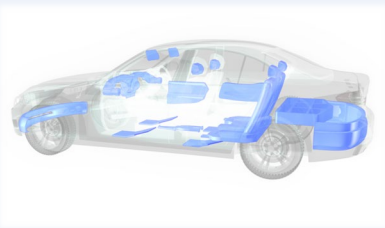
ビーズ事業（2025年3月期上期実績）

（単位：百万円）

	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期実績	前年比
売上高	42,738	47,454	+ 11.0%
営業利益	2,779	2,960	+ 6.5%

- 販売は前年同期並みも、製品価格改定などから売上は増加
- 人件費高騰の影響も、売上の増加やコスト削減により増益

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ARPRO®」
「エレンポール® NEO」
「FOAMCORE」

- 非自動車分野は好調に推移したものの、自動車分野での需要の影響により販売は前年同期並み
- 製品価格改定などから売上は増加

発泡性ポリスチレン



「スチロダイア®」
「ヒートポール® GR」
「クリアポール®」

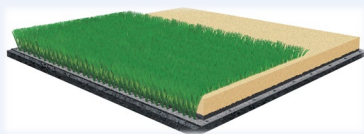
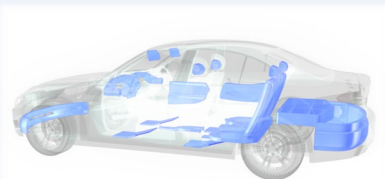
- 発泡性ビーズ製品は、水産・農業分野などでの需要の影響などにより販売は減少する見込み

ビーズ事業（2025年3月期通期 見通し）

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期			前年比
		上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	87,294	47,454	48,546	96,000	+ 10.0%
営業利益	6,542	2,960	3,240	6,200	- 5.2%

製品価格改定により売上高は増加も、欧州の需要の影響などにより減益の見込み

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ARPRO®」
「エレンポール® NEO」
「FOAMCORE」

- 「ARPRO®」の販売は、堅調に推移する見通し
- 欧州では、HVAC向け需要の影響により販売は減少する見込み
- 中国及び台湾では、包装材分野を中心に販売は増加する見通し

発泡性ポリスチレン



「スチロダイア®」
「ヒートポール® GR」
「クリアポール®」

- 発泡性ビーズ製品は、水産・農業分野などでの需要の影響などにより販売は減少する見込み

Index

Section **01** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【全体】

Section **02** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【セグメント別】

Section **03** トピックス

Section **04** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算補足

JSPグループの成長をけん引する海外事業の地域的拡大を進めます。

当計画により世界22拠点での生産が可能となる見込み

プネ工場
(インド マハラシュトラ州)



ラモス・アリスペ工場
(メキシコ コアウイラ州)



● ARPRO工場

インド (※当社初) に新工場を稼働予定

市場概況 建設経緯

- インドでは自動車市場の拡大とともに、主に自動車部品向け製品の伸びが期待されている。また、非自動車部品の分野も今後の成長を期待。
- これまではシンガポールからインドへ供給していたが、インド工場の稼働により現地生産へのシフトが可能となる。

完成時期

- 2025年1月 稼働開始予定

メキシコ第2工場を稼働予定

市場概況 建設経緯

- 米国の人件費高騰やチャイナリスクを背景に多くの自動車メーカーがメキシコ北部に進出している。
- 需要地近くに進出することで、製品供給に対応する。 トルーカ工場に続き、米国国境近くに位置するラモス・アリスペに第2工場を建設中。

完成時期

- 2025年第1四半期 稼働開始予定

日本国内、海外ともに、自動車部品用途でARPRO®の採用が拡大しています。

日本

メーカー：日産自動車
車種：パトロール/アルマーダ
INFINITI QX80
採用部品：ツールボックス、
フロントバンパー、リアバンパー
発売：2024年9月～
(年間6.6万台販売見込み)



アメリカ

メーカー：VOLVO
車種：EX90
採用部品：リアシート、バンパー、
ラゲッジスペーサー
発売：2024年6月～
(年間6万台販売見込み)



メキシコ

メーカー：STELLANTIS
車種：JEEP CHEROKEE
採用部品：リアシート
発売：2024年11月～
(年間15万台販売見込み)



中国

メーカー：小鵬 (シャオペン)
車種：MONA M03
採用部品：サイドスカート
発売：2024年9月～
(予約5万台以上、年間60万台販売見込み)



欧州ではヒートポンプにとどまらず、温水器、温水タンク、熱交換換気システムなど幅広いHVAC※¹用途でARPRO®の採用が拡大しています。

ARPRO

- 保温性で熱効率向上
- 耐久性と靱性の特性を生かし、鉄フレームなどの他素材部分と一体成形が可能となり、その結果、部品点数が削減され、組み立て工程の簡素化
- 軽量性によりメンテナンスの作業性向上に貢献します
- 意匠性で外観部品にも対応

欧州委員会が発表したロシア産化石燃料依存からの脱却計画「REPowerEU」には、2030年までにヒートポンプの設置率を倍増させる計画が含まれており※²、今後ARPRO®の販売拡大が期待されます。

※¹ HVAC:空調システムを指します。Heating（暖房）、Ventilation（換気）、Air Conditioning（空調）。

※² 出典：https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_22_3131



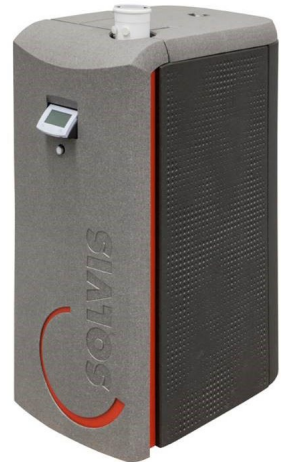
熱交換換気システム



ヒートポンプ



温水器



温水タンク

環境対応型

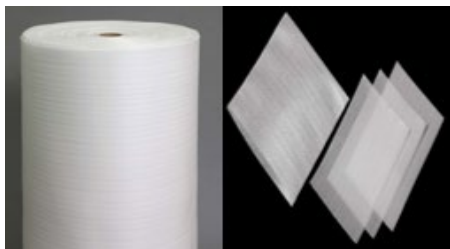
ミラマットA[®]-Bio

2024年1月 販売開始
主な用途：梱包材

ミラマット[®]シリーズに追加されたバイオマス原料を配合した新製品。

製品特徴

- ▶ バイオマスポリエチレンを25%以上配合し石油資源由来原料の使用削減
- ▶ 樹脂使用量を約30%削減
- ▶ 物性は従来のミラマット[®]と同等
- ▶ 従来のミラマット[®]と比較しCO₂排出量を約50%以上※削減



※本算定はIDEA Ver3.3を使用して算定した結果です。算定範囲は当社製造工程のみであり、当社からの出荷以降は含んでおりません。

環境対応型

エルブロック[®]エース RE

2024年10月 販売開始
主な用途：梱包材

市場で使用されたエルブロック[®]を回収および原料化し、この再生原料を30%以上配合したリサイクル製品。

製品特徴

- ▶ 製品の販売から回収までを考慮した総合的な提案が可能
- ▶ 持続性帯電防止性能を付与
- ▶ 繰り返し使用や低湿度時でも帯電防止性能を十分発揮
- ▶ 従来のエルブロック[®]-Eグレーと同等の品質および物性



新分野へ販路拡大

導電性ミラマット[®]

2024年7月 販売開始
主な用途：梱包材

ミラマット[®]シリーズに追加された導電性機能を付与した新製品。

製品特徴

- ▶ 原材料にカーボンブラックを配合し表面固有抵抗値10⁶Ω以下を実現
- ▶ 静電気を瞬時に逃がす導電性
- ▶ 当社独自技術のカーボンの脱落汚れを抑える処方箋で梱包物への色移りや移行汚れの付着を抑制



Index

- Section **01** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【全体】
- Section **02** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要、通期見通し【セグメント別】
- Section **03** トピックス
- Section **04** 2025年3月期第2四半期（中間期）決算補足

(単位：百万円)

	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
売上高	66,432	71,388
営業利益	3,247	3,204
経常利益	3,617	3,544
親会社株主に 帰属する 中間純利益	2,795	2,576
中間 包括利益	7,748	8,652

	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
1株当たり 中間純利益	93円80銭	98円33銭
売上高 営業利益率	4.9%	4.5%

【主要な日本円への換算レート（1～6月）】

	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
円/USD	136.5	154.1
円/EUR	147.9	166.1

営業外損益・特別損益

(単位：百万円)

営業外損益	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
受取利息	198	298
為替差益	-	13
持分法による 投資利益	19	5
デリバティブ評価益	112	-
その他	174	202
営業外収益合計	504	520
支払利息	86	100
為替差損	24	-
デリバティブ評価損	-	52
その他	23	27
営業外費用合計	134	180

特別損益	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
固定資産売却益	11	52
子会社における 送金詐欺回収額	-	8
特別利益合計	11	61
固定資産売却損	7	7
固定資産除却損	21	55
特別損失合計	28	63

(単位：百万円)

2024年3月末

2024年9月末

増減額

【主要な日本円への換算レート】

2023年
12月末

2024年
6月末

	2024年3月末	2024年9月末	増減額
総資産	151,605	157,466	+5,860
純資産	100,069	107,672	+7,602
ネット有利子負債	5,307	7,526	+2,219
自己資本	95,281	102,522	+7,241
ネットD/Eレシオ	0.05	0.07	
自己資本比率	62.8%	65.1%	+2.3ポイント
1株当たり 純資産	3,635円60銭	3,911円94銭	

円/USD	141.8	161.0
円/EUR	157.0	172.3

貸借対照表



(単位：百万円)

		2024年3月末	2024年9月末	増減額
資産の部	流動資産	78,155	79,708	+1,553
	固定資産	73,449	77,757	+4,307
資産合計		151,605	157,466	+5,860
負債の部	流動負債	35,765	33,379	△2,386
	固定負債	15,770	16,414	+643
	負債合計	51,536	49,793	△1,742
純資産の部	株主資本	85,688	87,216	+1,528
	その他包括利益累計額	9,593	15,306	+5,713
	非支配株主持分	4,788	5,149	+361
	純資産合計	100,069	107,672	+7,602
負債純資産合計		151,605	157,466	+5,860

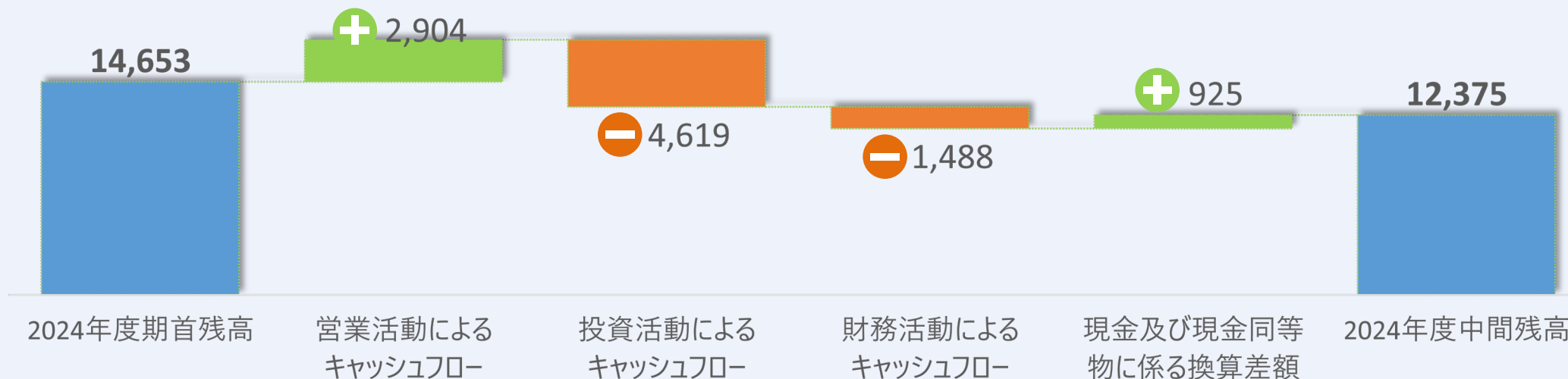


(単位：百万円)

		2024年3月末	2024年9月末	増減額
株主資本	資本金	10,128	10,128	-
	資本剰余金	13,405	13,405	-
	利益剰余金	69,523	71,051	+1,528
	自己株式	△7,369	△7,369	-
	合計	85,688	87,216	+1,528
その他の包括利益累計額	その他有価証券評価差額金	608	803	+195
	為替換算調整勘定	8,029	13,606	+5,576
	退職給付に係る調整累計額	954	896	△58
	合計	9,593	15,306	+5,713
非支配株主持分		4,788	5,149	+361
純資産合計		100,069	107,672	5,860

【キャッシュフロー】

(単位：百万円)



【設備投資額・減価償却費・研究開発費】

	2024年3月期上期	2025年3月期上期
設備投資額	3,261	4,011
減価償却費	3,642	3,902
研究開発費	1,148	1,270

※ 設備投資額はキャッシュベースです。

＜予想に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Deliver with
WOW!

私たちは、真のグローバルサプライヤーとして、顧客と消費者に感動を、
株主と地域社会に満足をお届けし、社員一人ひとりがワクワク感を持って仕事をすることで
社会から必要とされる企業を目指してまいります。

